

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	リサイクルふれあい館企画・展示事業	所管	環境クリーン部 リサイクルふれあい館
			Tel 2994-5374

事業の目的 (何の為に 行うか)	循環型社会形成に向け、3R(Reduceリデュース・・・発生抑制、Reuseリユース・・・再使用、Recycleリサイクル・・・再生利用)啓発のための企画・展示を行う。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市民	対象とした数	339,058	人
		実際に 利用した数	31,704	人

活動の内容	(何を したか)	①見学者の印象に残る館内展示(ペットボトル梱包品の実物など)わかりやすい解説。 ②催事の企画開催(エコロまつり、和服のもったいない市)等による市民へのPR事業。 ③市民フェスティバル、生涯学習フェスティバル等への積極的参加によるPR活動。 ④館内展示のほか、ホームページや情報紙発行による情報提供の研究。								
	活動実績	項目名	来館者数	31,704	項目名	情報紙発行回数	4	項目名	イベント参加回数	4
			-----	-----		-----	-----		-----	-----
			単位 人			単位 回			単位 回	

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	8,050	7,005	17,902	52.8

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	循環型社会への関心度	来館者数	35,000	31,704	90.6
			-----	-----	-----
			単位 人	単位 人	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ]								
		終了 ⇒ 事業完了			終了			休止		
	予算	* 現状どおり 増額			減額			終了		

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了										
	総合 評価	拡充 縮小		統合		改善・効率化		改善余地なし		その他 [ ] 終了	
	予算	現状どおり		増額		減額		終了			

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名	事業コード	担当部課	部課コード	050500	TEL	2994-5374
050502	リサイクルふれあい館企画・展示事業	環境クリーン部	リサイクルふれあい館			
開始年度 平成 15 年度 → 終了年度 平成 年度		グループ	リサイクルふれあい館			

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令
	分野別計画・指針	一般廃棄物処理基本計画、環境基本計画	循環型社会形成推進基本法、所沢市リサイクルふれあい館条例、所沢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例
	関連・類似事業	温暖化対策啓発事業、環境情報提供事業、環境展示啓発事業、グリーン購入啓発事業(環境総務課)	
	総合計画の体系	政策 第1章 緑豊かな ゆとり・うるおいのあるまち	施策 4節 廃棄物・リサイクル
		中柱 1 ごみ減量とリサイクルの推進	小柱 (2)リサイクルの推進
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 4 位		
	・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○		
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ		
	コード	市民の知りたい情報の提供	コード
	1111		
	事業開始の背景	ごみ減量及びリサイクル情報の発信拠点として、情報提供のための催事企画や館内展示を行うこととなった。	

③事業の内容	目的(何のために行うのか、具体的に)	循環型社会形成に向け、3R(Reduceリデュース…発生抑制、Reuseリユース…再利用、Recycleリサイクル…再生利用)啓発のための企画・展示を行う。
	対象(誰を、何を対象としているのか)	利用数の考え方 市民 来館者
	対象数	単位
	平成 18 年度	337,883 人
	平成 19 年度	339,058 人
	平成 18 年度	33,542 人
	平成 19 年度	31,704 人
	事業の具体的な内容及び実施方法	
	①見学者の印象に残る館内展示(ペットボトル梱包品の実物など)わかりやすい解説。 ②催事の企画開催(エコまつり、和服のもったいない市)等による市民へのPR事業。 ③市民フェスティバル、生涯学習フェスティバル等への積極的参加によるPR活動。 ④館内展示のほか、ホームページや情報紙発行による情報提供の研究。	

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 <input type="checkbox"/>
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] ) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了
	平成19年度中に改善した点	
	3Rを身近に取り入れてもらえるよう、催事内容の工夫を図った(「エコまつり」、「和服のもったいない市」特設ステージイベント)。また、他事業イベント会場(市民フェスティバル、生涯学習フェスティバル、環境月間など)に積極的に参加し、ごみ減量のPRや3Rの展示を行った。	

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		7,680	8,050	6,859
	決算(見込み含む)		7,538	7,005	
	(嘱託職員) (臨時職員)	( 人 ) ( 1.80 人 ) ( 人 ) ( 2.60 人 )			
	正規職員人件費	1.16 人	10,672	1.16 人	10,897
	公債費				
	事業費合計		18,210	17,902	
	財源内訳	一般財源	18,210	17,902	6,859
		国・県支出金			
		受益者負担金			
		市債			
		その他			
	市民一人当たり(単位:円)		53.9	52.8	
	利用数一単位あたり(単位:円)		542.9	564.7	

⑥指標	活動実績	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
		来館者数	リサイクルふれあい館・東所沢エコステーション来館者数	人	33,542	31,704		
		情報紙発行回数	「エコ通信」全地区行政観覧回数	回	4	4		
		イベント参加回数	他部署イベント参加回数	回	5	4		
成果分析	循環型社会への関心度	目標値	来館者数	人	31,000	35,000	35,000	
		実績				33,542	31,704	
		達成率			%	108.2	90.6	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無
<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題	催事企画内容や他事業への参加内容について、より市民が関心を持てるような工夫を図る。			
評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定	関係機関と連携し、市民にごみ減量や3Rの推進を周知していく。	環境学習を充実させ、子どもから大人まで幅広い世代に、効果的でわかりやすい展示内容を工夫し、意識の高揚と主体的な行動の促進に繋げる。	平成21年度末
	平成21年度における事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] ) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )		
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由	催事事業への市民参加が充実しつつあるので、初めての来場者にもごみの減量化やリサイクルの取り組みについて必要性を理解してもらうため、わかりやすい展示物の展示や新しいごみ減量・リサイクル情報を展示していく。今後は市民と共に企画展示できる体制を整え、市民参加型の展示を企画していく。			
評価日	平成20年5月1日	記入者職氏名	リサイクルふれあい館長 本澤 勉	

⑧二次評価	一次評価	平成21年度における事業の方向性
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] <input type="checkbox"/> 終了
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了
評価	評価理由	
	評価日	
	次年度用事前評価	部内優先順位… 位 非常に高い 高い やや低い 低い
評価	見込まれる貢献度	総合計画上位目標 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		市長マニフェスト <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	評価理由	優先度評価
		<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	322	431
	施策の体系	3-2資源循環の促進	3-2-2リユース・リサイクルの推進		
		4-3環境情報の収集・整備・提供	4-3-1環境情報の提供と共有化の推進		
◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード			
基本目標					
主要課題					
施策の方向					